

# まちのわだい

## 自衛官ボランティア活動

### 鬼の像清掃作業



鬼の像で作業する自衛官

ゴールデンウィーク期間中に、自衛官有志による鬼の像の清掃作業が行われました。今回作業を行ったのは、陸上自衛隊米子駐屯地に勤務する8名と広島県の海田市駐屯地勤務の1名(伯耆町出身者)の計9名の自衛官たちです。

鬼の像は、台座を含めて26mあり、高所で特殊な形状をしていることから、自衛官の中でも山岳登坂技術を保有する有志が集められました。自衛官たちは「マーリングと呼ばれる登坂技術や懸垂降下により鬼の像本体に登坂し、安全かつスムーズにブラッシング清掃を行いました。清掃作業発起人の権代博文さん(伯耆町在住)は、「普段の訓練を活かし、地域に貢献できれば」と話していました。

## スポーツを通じて町民の交流を

### 伯耆町バドミントン大会

今回で8回目となる伯耆町バドミントン大会が、4月22日、町民溝口体育館で開催されました。この大会は、町民の健康づくり、親睦を目的に、毎年この時期に行われています。今年も、去年より4チーム多い23チーム、180人が出場しました。試合は、男子ダブルス・女子ダブルス・男女混合ダブルスの三つの種目で団体戦を行い、予選リーグを勝ち抜いた6チームが、決勝トーナメントに進みます。また今年も、参加者からの要望で個人戦も行われ、参加者は試合を通じてたくさんの人と交流を深めました。大会の結果は、次のとおりです。

- 優勝 ハッスルニュータウン
- 準優勝 溝口8組
- 第3位 木戸口、岸本



チームの勝敗をかけて戦う選手たち

## 世代を超えた交流事業

### 日光小学校わらび採り遠足



わらびを摘み取る児童

5月13日、大滝放牧場で、日光小学校のわらび採り遠足が行われました。このわらび採り遠足は40年以上前から行われており、児童だけでなく、保護者をはじめ地域の住民も一緒に参加しています。朝8時に日光小学校前で開会式を終え、およそ1.5km離れた大滝放牧場に移動し、わらび採りを開始しました。

今回採れたわらびは、米子の食品業者に販売することになっており、長さの規格が定められているため、児童たちは、割りばしを使って、いねいに摘み取っていました。今年も、数が多いものの茎が細く、硬めのわらびが多いようです。最終的に83kgのわらびが収穫され、そのうち60kgが食品業者に売られ、10kgは伯耆町の学校給食に、13kgは東京のアンテナショップで販売されることになっています。

## 山菜販売でむらおこし

### 二部地区山菜の初出荷



出荷されたたけのこの重さを量る職員

二部活性化推進機構による山菜の出荷が、4月26日から始まりました。

山間部の地域特性を活かしたまちづくりの環境として、米子市の食品会社に出荷しており、今年で4年目となります。初出荷となるこの日は、二部地区の住民6人が、自ら採ってきた山菜を持ち寄り、担当者と一緒に長さや重さを量りました。第1回目の出荷量は、わらび49kg、ぜんまい8kg、たけのこ80kgで、特に今年も、たけのこの収穫量が多いことが注目です。

この山菜の出荷は、個々の副収入につながるほか、たけのこを収穫することで竹林の拡大を防ぎ、環境保全にも効果があります。なお、出荷された山菜は、米子市の学校給食で使われるそうです。

## 平成24年4月

### 伯耆町区長協議会定例会

自治会相互の連携と親睦を図ること目的に設置された伯耆町区長協議会の定例会が、4月27日、農村環境改善センターで開催され、各集落の区長などが参加しました。始めに、伯耆町から平成24年度の各種事業について説明があり、その後平成24年伯耆町区長協議会事業計画(案)および収支予算(案)について、質疑・討論を経て、承認されました。区長協議会の平成24年の主な事業は次のとおりです。

- 定例会 1月・4月・12月
- 環境美化活動 6月17日(日)
- 先進地視察研修 7月2日(月)
- 防災活動 9月23日(日)
- 講演会 12月



区長協議会の様子

## 地域の住民に新鮮な野菜を提供

### J A女性会の朝市始まる



新鮮な野菜を買い求める地域の人たち

J A女性会溝口朝市グループによる朝市が、5月12日から始まりました。

この朝市は、地域の住民に新鮮で安価な野菜を届けようと、J A女性会が企画して行っているものです。販売会場となるJ R伯耆溝口駅前では、朝市にもかかわらず、近隣の住民30人ほどが、会場に敷き詰められた野菜や加工品、花などを品定めしていました。旬の野菜や山菜が安価で手に入るとあって、購入者たちは、目的の品の確保に真剣でした。

この朝市は、冬季休業となる12月下旬まで、毎週土曜日の7時から開催されます。